

再出発を見まも



“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを助ける地域のチカラ～

金沢保護観察所長

杉山 哲朗

法務省が主唱し、本年62回目を迎える“社会を明るくする運動”が7月を強調月間として全国的に展開されます。

本運動は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとするもので、当石川県におきましても、県内各地域で推進委員会が設置され活発な活動が展開されています。

この運動の中心となっているのが、法務省の中でも更生保護と呼ばれる分野です。更生保護とは、犯罪をした人や非行のある少年を地域社会から排除するのではなく、その人の努力と、更生に向け指導・支援していく人たちと地域の人たちの支えや励ましで、過ちを犯しても必ず立ち直ることができる、人は変わることができる。との考えで、その人たちの処遇や、犯罪・非行予防活動をしているところです。その業務を担当しているのが保護観察所で、活動の中核となっただいただいているのが、保護司と呼ばれるボランティアの方々

です。その他、更生保護に協力していただいている団体に更生保護女性会、BBS会、協力雇用主があります。

近年、犯罪・非行の発生件数は減少傾向が続いているものの、体感治安は悪化しているとも言われます。

こうした情勢の背景には、地域が本来有していた住民相互の連帯感等が希薄化し、地域社会における教育力や犯罪の抑止力が低下しつつある現状が指摘されており、地域活動の推進による更生の援助こそが期待され、本運動も～犯罪や非行を防止し、立ち直りを助ける地域のチカラ～を高めることを目指して活動することとしています。

金沢市推進委員会におかれては、小中学生を対象とした標語の募集、市内各地における啓発活動等を通じ、運動の実をあげておられるところ、犯罪や非行のない明るい社会づくりのため、市民の皆様のご参加とご協力を切に願います。



温もりの輪を広げよう明るい社会

金沢保護区保護司会 会長

若林 茂樹

地域や学校の方々にもお力添えを戴きながら、犯罪や非行の防止、又犯罪や非行を犯してしまった人たちの立ち直りの輪を広げる“社会を明るくする運動”の啓蒙活動も、本年は早、第62回を迎えることとなりました。

思い起こしますと、BBS運動が発足して10年の頃、当時私は、20歳の前半、今から50数年も前のこと、仲間達とハンドスピーカーを手に、大声で呼びかけ、手造りのチラシや風船を配布、能登から加賀へと県内を奔走しました。昼時夕時には、寺院の保護司宅での心の籠もった食卓を囲み、その土地の人達との交流は、お互いの思いや理解を深める良い機会にもなりました。

先日、金沢市BBS連盟が企画、社会参加活動の一環としての奉仕活動とバーベキュー大会が、内川運動公園で開催され、私も喜んで参加させて頂きました。保護司、観察官、父兄、BBS会員、そして対象少年も含めて20数名が参加しての文字通り、和気あいあいの行

事となりました。

特に印象が深かったのは、対象少年が、年令の若いBBS会員と共に笑顔の絶えることなく、汗一杯の顔面で、手伝ってくれたことです。

終了後、参加者全員も感動して、次回も是非参加したいとのことでした。

この大切な体験を糧に、地域の皆様のチカラを得ながら、小学生が応募してくれた標語の一つ「人と人、つなげる絆、思いやり」の輪紋を、どんどん広げていきたいものです。

“社会を明るくする運動”が、年間を通して広がることを願って。

り、支える社会に。

第61回“社会を明るくする運動”

標語コンクール受賞作品

【金沢市長賞】.....
だいじょうぶ その一言で 救われる 小坂小学校 6年 籠橋 みのり

【金沢保護観察所長賞】.....
始めよう 家族が手と手を つなぐこと 金大付属小学校 6年 一ノ瀬 真人

【金沢中警察署長賞】.....
あいさつは 犯罪をなくす かぎになる 泉野小学校 6年 櫻井 英敦

【金沢東警察署長賞】.....
人と人 つなげる絆 思いやり 森山町小学校 5年 大浦 祐人

【金沢西警察署長賞】.....
あいさつは 毎日できる プレゼント 金石町小学校 6年 道場映里佳

[平成23年度]社会を明るくする運動

事業協力者 (順不同敬称略)

講演会・公開ケース研究会・スポーツ大会等を行う際、本運動の趣旨説明の為に、一般篤志家の御協力を得て、うちわ・タオル・ポリ袋の配布を行っております。

その結果、平成23年6月から8月までの期間中に438,100円の御協力を賜りました。

本運動の趣旨を御理解いただき、御協力をいただいた方々に厚く御礼を申し上げますとともに、御芳名を掲載させていただきます。

- 新竪町商店街
- 焼肉銀
- マルエー小立野店
- (有)寿し栄 涌波店
- 北國銀行
- ニュー三久
- 菊川校下保護司会
- 金沢保護区保護司会西分区
- 蔵 英太郎
- 中央小学校校区保護司会
- (有)タイアップ
- 金沢保護区保護司会南東分区
- 智覚寺
- 上村電建株式会社
- テルメ金沢
- 安原地区保護司会
- 安原地区町会連合会
- 大野町校下保護司会
- いしお美容室
- (株)玉家建設
- (株)兆建
- クリーニングハウスウオッシュマン
- きんしん鈴見橋支店
- 徳田印刷(株)
- 小立野地区保護司会
- 戸板校下保護司会
- 縄 寛敏
- 弥生校下町会連合会
- 高橋工務店
- 富士機材(株)
- JA金沢中央三馬支店
- (有)前田技建
- 浅野川校下町会連合会
- ふたつか認定こども園
- 安原地区更生保護女性会
- 鞍月校下保護司会

第62回「社会を明るくする運動」の取り組みについて

強調月間

平成24年7月1日～
31日までの1ヵ月間

運動の方法

- (1)「更生保護の日」である7月1日における、強調月間の初日にふさわしい行事の実施。
- (2)住民集会・ミニ集会・講演会・公開ケース研究会等の開催。
- (3)学校、教育委員会その他の教育機関・団体と連携した非行防止教室等の開催。
- (4)市内各小中学校等の協力を得て行う作文、標語募集。
- (5)ポスター、パンフレット、リーフレット、懸垂幕等による広報の実施。
- (6)いじめの問題や子どもに対する犯罪等、近時における特徴的な犯罪や非行を防止するための機関・団体と連携した諸活動。



第61回「社会を明るくする運動」標語コンクール表彰式



あいさつ運動



更生保護の日 街頭広報活動

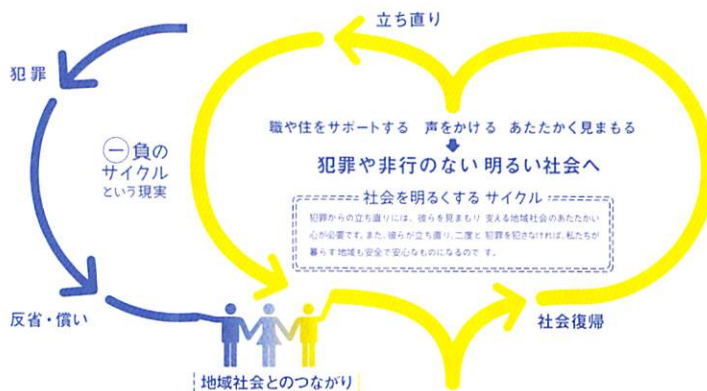
保護司とは

各地域社会に生活している人の中から選ばれ法務大臣から委嘱を受けた民間ボランティアで、保護観察官とともに保護観察、犯罪予防活動などに従事しています。全国で5万人が活躍中。

《社会を明るくする運動》のはじまり

戦後間もない昭和24年頃、貧困からくる子供達の非行が、大きな社会問題となっていました。そのとき、東京・銀座商店街の延べ2,000人もの人々が立ち上がり、「不幸な子供達を救ひませう」の立看板を掲げ、真夏の炎天下、犯罪予防と少年保護を訴える「銀座フェア」を開催しました。この市民の活動がきっかけとなって、昭和26年から、法務省主唱の「社会を明るくする運動」が始まるのです。

犯罪が起こるサイクルを変えるのは、
あなたのまなざしです。



第62回 社会を明るくする運動
金沢市推進委員会事務局

金沢保護区保護司会
金沢市西念3丁目4番1号
金沢駅西合同庁舎 金沢保護観察所内
TEL&FAX 076-222-6237